

# 令和4年度 事業報告

《令和4年4月1日～令和5年3月31日》

## 第1 事業活動の概況

### 1 交通安全活動に対する県民の理解・協力を確保するための広報啓発事業

#### (1) 交通安全全国（県）民運動の実施

当連合会は、交通安全運動の推進団体として、関係機関・団体及び各地区交通安全協会と連携して、四季の交通安全運動を実施した。

#### (2) 交通安全広報・啓発活動の推進

飲酒運転根絶及び交通ルールの遵守・交通マナーの実践など、県民の交通安全意識の高揚を図るため、交通安全広報・啓発活動を推進した。

##### ア ポスター等による広報

交通安全広報用のポスター・チラシ・懸垂幕・のぼり等を製作・購入等をして、各地区交通安全協会を介して、各地域の職場や学校等に配布した。

#### 【活動推進状況】

##### ◆交通安全広報・啓発用ポスター、チラシなどの製作・配布状況

・交通安全年間広報用ポスター	1,800枚
・交通安全ニュース	68,000枚 (17,000×4)
・交通安全運動用広報テープ・CD	30本
・交通安全運動用懸垂幕・横断幕	12本
・原付車教本(冊子)	1,000部

##### ◆交通安全教育資機材の購入・寄贈等整備・活用状況

・カラー反射材リストバンド	15,000本
・携帯型反射材(大成ホーム)	1,000個
・ランドセルカバー	5,500枚
・交通安全横断指導旗(全日本交通安全協会)	100本
・交通安全横断旗(こくみん共済)	3,504本
・交通安全絵本(沖縄トヨタ自動車)	68,603冊

##### イ 交通安全街頭広報

毎月1日の「交通安全県民の日」「飲酒運転根絶の日」、毎月20日の「県民交通事故0の日」には、広報車による街頭広報活動を行った。

##### ウ 交通安全年間スローガンの広報

県警察と連携し、交通安全年間スローガン及びポスターを1,800枚作成し、関係機関団体等への配布及び県内紙に新聞広告を掲載して県民への周知を図った。

##### エ 交通安全広報紙「沖縄県交通安全ニュース」の発行

県民の交通安全意識の高揚を図るため、広報紙「沖縄県交通安全ニュース」を春・夏・秋・年末年始(各1万7千部)の各季の交通安全運動時期に発行した。

#### (3) 交通安全教育資機材等の効果的活用

##### ア 各種交通安全マニュアルの配布

県・県警察から受託している更新時講習等、各種講習の内容充実を図り、交通安全教育を効果的に推進するため、「安全のしおり」、「安全運転自己診断」等の冊子を購入配布して活用した。

**【教本・リーフレット・冊子などの購入整備・配布状況】**

・安全のしおり	180,000部
・安全運転自己診断	66,854冊
・検査用紙73-2（長期・中期）	24冊
・検査用紙82-3（短期・違反者講習）	30冊
・原付車教本	1,750冊

**イ 各種視聴覚教材の充実と活用**

- (ア) 交通事故率が高い二輪運転者・高齢者に向けたDVD教材を充実させ、交通安全講習会等における視聴覚教材として活用し、交通事故防止に努めた。
- (イ) 交通安全教育用ビデオ、DVD及び教育用資機材を各地区交通安全協会、学校及び事業所等へ積極的に貸し出し、視聴覚教材を活用した交通安全教育の充実を図った。

**【交通安全教育用資機材の貸し出し状況】**

・教育用DVD	62回
・自転車シミュレーター	2回
・シートベルトエアバック装置	0回
・クイックアーム	10回
・クイックステップ	3回
・飲酒運転疑似体験ゴーグル	10回

**ウ 寄贈を受けた交通安全対策資器材の活用**

県内企業から寄贈を受けた、交通安全絵本、交通安全横断旗、携帯用反射材を地区を介して、児童・園児や高齢者等に配布活用して交通事故防止を図った。

**【寄贈を受けた交通安全資器材の活用・配布状況】**

・携帯型反射材（大成ホーム）	1,000個
・交通安全横断旗（こくみん共済）	3,504本
・交通安全横断指導旗（全日本安協）	100本
・交通安全絵本（沖縄トヨタ自動車）	68,603冊
・交通安全広報用テント（全日本安協）	2張り

**(4) 表彰制度の適正な運用**

交通安全活動に尽力し、交通事故防止に功労のあった個人・団体及び永年無事故・無違反運転を継続して模範となっている優良運転者等の功績を称え、交通安全思想の普及高揚を図るため、数多くの個人（団体）を表彰した。

なお、沖縄県警察本部長・沖縄県交通安全協会連合会長連名表彰は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式を挙げるせず、各警察署長・各地区交通安全協会長からの伝達とした。

**【表彰実施状況】**

**ア 沖縄県警察本部長・沖縄県交通安全協会連合会長連名表彰**

・交通安全功労者	36名
・優良安全運転管理者	5名
・優良運転者	62名
・交通安全優良団体	6団体

・交通安全優良事業所	4事業所
・交通安全優良学校	1校
※ 優良交通安全協会職員	1名

- イ 警察庁長官・全日本交通安全協会長連名表彰
- ・交通安全栄誉章「緑十字金章」・・・交通安全功労者2名
  - ・交通安全栄誉章「緑十字銀章」・・・交通安全功労者5名 優良運転者1名
- ◆全日本交通安全協会長表彰
- ・交通安全栄誉章「緑十字銅章」  
交通安全功労者26名、優良運転管理者2名、優良運転者30名
  - ・交通安全優良事業所 1事業所
  - ・交通安全優良学校 1学校
- ◆全日本交通安全協会長感謝状 7名（金・銀章配偶者等）

ウ 九州管区警察局長・九州交通安全協会長連名表彰

- ・交通安全功労者 11名
  - ・交通安全功労団体 3団体
  - ・優良安全運転管理者 2名
  - ・優良事業所 2事業所
  - ・優良運転者 19名
- ◆九州交通安全協会長表彰
- ・交通安全優良学校 1校
  - ・優良職員 2名

エ 令和4年度沖縄県交通安全功労者等表彰（県知事）

- ・交通安全功労者 8名
- ・交通安全功労団体 6団体
- ・優良自動車運転者 2名

オ 交通安全対策等優秀警察署表彰（豊見城・宮古島・沖縄・八重山警察署）

カ 交通死亡事故ゼロ1年達成表彰（豊見城・本部・八重山警察署）

(5) ホームページ等を活用した情報の発信

当連合会の事業活動を広く県民に周知して業務への理解と協力を得るため、交通安全活動状況や交通安全功労者等表彰について、ホームページや交通安全ニュース等を活用して情報発信した。

2 交通事故の実態を踏まえた実践的な交通安全指導・教育事業

(1) 交通安全指導（対策）の積極的推進

ア 新入園児、新入学児童に対する安全指導の実施

各地区交通安全協会を介して、新入園児及び児童ヘランドセルカバー等の交通安全用品を配布した。

また、各地区交通安全協会においては、新入園児及び新入学児童を対象に登下校時における交通事故防止を図るため、模擬交通信号機を活用した正しい横断方法や交通マナーに関する交通安全指導及び通学路における街頭指導を実施した。

イ 児童に対する交通安全指導

地区交通安全協会と連携し、児童を対象に自転車シミュレーター等を活用して自転車

の正しい乗り方等について指導した。

ウ **高齢者交通事故防止対策の強化**

高齢歩行者の交通事故防止のため、反射材の普及促進を図った。

エ **自転車の交通安全指導**

(ア) 各地区交通安全協会と連携して、自転車シミュレーター等を活用した自転車の安全指導を実施して自転車の交通事故防止を図った。

(イ) 自転車安全整備店の登録拡大とT Sマークの普及拡大を図った。

(ウ) 自転車保険（全日本交通安全協会の新規事業）の加入促進を図った。

オ **自動車運転者への交通安全指導の強化**

(ア) 事業所等に対し、クイック・アーム、クイックステップ等の反射測定装置及び交通安全DVDを貸与し、各事業所等で活用して交通安全意識の高揚を図っている。

(イ) 事業所において、交通事故防止対策の重要性や飲酒運転の悪質・危険性等について講話し安全運転意識の向上を図った。

※ オリオンビール株式会社等10企業174名（受講者はワライン除く）に実施

（前年度比+6企業、+34名）

(ウ) 安全運転管理者講習において、安全運転管理者事業所におけるアルコールチェックが義務化され、飲酒運転根絶に向けた事業所の更なる取組強化等の必要性について指導した。

カ **交通安全年間スローガン、交通安全ファミリー作文及びポスターデザインの募集**

全日本交通安全協会等が実施する交通安全スローガン、交通安全ファミリー作文及びポスターデザインの募集については、地区交通安全協会及び県警察、教育庁等と連携して広く県民から募集し、応募作品は全て全日本交通安全協会等に送付した。

(2) **飲酒運転根絶対策の積極的推進**

沖縄県飲酒運転根絶条例に基づき策定された「沖縄県飲酒運転根絶に関する基本方針」に沿って、各地区交通安全協会、関係機関・団体等と連携し、次の施策を推進した。

ア 飲酒運転脱ワースト運動

イ 飲酒運転（四）ない運動

ウ ハンドルキーパー運動

エ 飲酒運転の根絶運動（毎月1日及び20日）の広報活動

オ 飲酒運転根絶自動販売機の設置拡大（19箇所設置）

カ 飲酒運転根絶ピンバッジの普及促進（330個販売）

キ 飲酒運転根絶ラジオCM（12月21日～31日の間 20回放送：ラジオ沖縄）

3 **道路交通法等の法令に基づく、県・県公安委員会からの受託事業**

道路交通法及び自動車保管場所の確保に関する法律の規定に基づく県・県公安委員会からの次の受託事業を適正に推進した。

(1) **法定講習**

ア 更新時講習 182,329人（前年度比 +2,201人）

イ 違反者講習 22人（前年度比 +5人）

ウ 停止処分者講習 64人（前年度比 +30人）

エ 安全運転管理者等講習 13回（-6回）4,146人（前年度比+683人）

(2) **運転免許事務**

ア 運転免許証記載事項の変更届 7,825件（前年度比 -1,447件）

イ 更新情報提供 224,293件（前年度比 +2,349件）

ウ 運転免許証の写真撮影 250,414件（前年度比+4,200件）

(3) 原付講習

163回 受講者1,750人(前年度比+380人)

(4) 自動車保管場所事務

ア 受付 89,918件(前年度比+1,253件)  
イ 電算入力 89,975件(前年度比+1,036件)  
ウ 調査 80,617件(前年度比+1,260件)  
エ 交付 89,060件(前年度比+1,293件)

(5) 道路使用許可に係る確認調査事務

調査数745件(那覇署391件、豊見城署354件)(前年度比-33件)

(6) 警察緊急自動車運転資格に関する適性検査の実施

警察官対象7回・97名

4 運転免許行政の円滑な運用に寄与するための証紙販売

沖縄県警察運転免許センター及び同中部講習所において、運転免許申請に必要な沖縄県証紙を販売(証紙売捌事業収益22,405,020円)(前年度比+669,570円)

5 交通事故に関する相談事業

県及び県警察と連携し、交通事故に関する相談業務を推進した。(相談件数21件)

6 収益事業

(1) 免許事務及び安全運転関連事業

ア 運転免許申請に伴う写真撮影業務

(売上8,730,600円 前年度比+2,025,000円)

イ 運転免許センター技能試験コースにおける開放事業(第2・第4日曜日)

(22回(10月中止) 126人)

ウ 初心者マーク、高齢者マーク、運転代行マーク及び聴覚障害者マーク等の交通安全機材の斡旋、販売(売上135,470円 前年度比-38,000円)

(2) 太陽光発電システム事業の推進

太陽光発電売電料 1,155,840円 ※平成26年4月から運用開始

(3) 不動産賃貸事業

平成27年7月から当連合会2階事務所を民間企業(リゾート琉球(株))に賃貸(賃貸料5,400,000円)

7 その他の事業

(1) 関係機関・団体との協力関係の確保

ア 受託業務を適正に推進するため、県公安委員会、県警察本部主管課及び関係警察署等と緊密な連携を図るとともに必要な指導・援助を要請した。

イ 幅広い交通安全対策を推進するため、県、県警察及び県交通安全母の会等をはじめ交通関係機関・団体及びその他関係団体(二普協、自転車商協同組合、JAF)との協力確保に努めた。

(2) 職員の資質向上

職員の資質向上を図るため、例年、全体研修会を開催しているが、本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多数が集まる全体研修会については開催を控えているが、窓口業務担当を主に、適宜係ごとの少人数での教養を実施している。

また、自動車安全運転センター中央研修所等が主催する各種研修会に当会職員4名、地区安協職員等3名を派遣した。